

別紙1 これまでの経過と基本的な情報

【コウノトリの基本情報】

- 種名：コウノトリ（鶴）
分類：コウノトリ目コウノトリ科
全長：110～115cm、翼開長 160～200cm、体重 4～6kg
- ・環境省レッドリスト：絶滅危惧 I A類（CR）
 - ・特別天然記念物：1956 年指定
 - ・国内希少野生動植物種：種の保存法 1993 年指定
 - ・日本国内繁殖個体群・野生種絶滅：1971 年

【これまでの経緯】

- 令和元年4月 1日（月） 鳥取市内の鉄塔上にコウノトリが営巣しているとの連絡が県緑豊かな自然課よりあり。
- 令和元年4月11日（木） 兵庫県立コウノトリの郷公園・鳥取県文化財課及び緑豊かな自然課・鳥取市文化財課・隣接地・鉄塔所有者で対応を協議
- 令和元年4月12日（金） 資料提供（場所の秘匿と、注意喚起を依頼）
- 令和元年5月 5日（日） ヒナが孵化
- 令和元年6月17日（月） 兵庫県立コウノトリの郷公園・鳥取市によるヒナへの足環装着と検体採取。ヒナは計4羽。
- 令和元年7月16日（月） ヒナの巣立ちが確認される。
- 令和元年8月～ 鳥取市福井等でコウノトリの活動が確認される（親鳥ペアが定着している）
- 令和元年10月頃～ 島根県・山口県等でヒナの目撃が報告される
- 令和元年12月24日（金） 今回使用された巣を撤去し、再度営巣できないよう防鳥ワイヤを設置
～25日（土） （今回の鉄塔は高すぎてコウノトリの安全が確保できないため）
- 令和元年12月29日（日） J0253 メス（足環：（右）赤黒（左）黒青）が韓国で確認される
- 令和2年 1月24日（金） J0255 オスが島根県松江市東出雲町揖屋町（金山池）で死亡しているのが確認される
- 令和2年 4月 6日（月） J0256 オスが中華人民共和国浙江省台州市で確認される（飛来は前年12月）
- 令和2年 4月 7日（火） この頃、気高町日光に個人が設置された人工巣塔で営巣を始める
- 令和2年 4月14日（火） 市教育委員会文化財課が営巣を確認
- 令和2年 4月16日（木） 巣塔所有者・日光区長と協議の上、仮の注意板などを設置

【親鳥・ヒナの情報】

(1) 親鳥

	個体番号	場所	誕生	性別
	J0125	豊岡市戸島巣塔	2016. 4/2	オス
	J0123	豊岡市赤石巣塔	2016. 3/29	メス

(2) ヒナ

	個体番号	場所	誕生	性別
	J0253	鳥取県鳥取市	最初の孵化推 定日 2019. 5/5	オス
	J0254			メス
	J0255			オス
	J0256			オス

【これまでの対応】

1. 令和元年度については、特別天然記念物コウノトリの産卵・孵化・巣立ちについては鳥取県内で初めての事例であったため、その繁殖にかく乱を与えないことを最優先としました。繁殖場所等は公表せず、営巣した鉄塔の所有者、周辺の住民や隣接地の企業、鳥取県の関係課、兵庫県立コウノトリの郷公園、報道機関等の協力・連携のもと、静かに見守りました。
2. 個体数管理のためのコウノトリへの足環装着等を、今回は、兵庫県立コウノトリの郷公園と鳥取市が共同で、鳥取県・営巣施設の管理者等の協力を得て実施しました。
3. 令和元年度に営巣した鉄塔については、幼鳥の独立後、原状回復を行い、再度営巣することの無いよう対応（場所が高すぎ、営巣や足環装着には危険な場所であるため）。
4. 現在は、関係機関・ボランティアで見守っていただいている方の協力により、情報収集に努めています。
5. 有志の方により気高町日光地内に人工巣塔が設置されましたので、コウノトリの郷公園・県の関係部局とともに設置場所の選定や営巣時の対応等、所有者との協力体制を確立しました。
6. 特別天然記念物コウノトリの保護について、関係機関と協議し、基本的な対応の指針を確立するための協議を進めています。
7. コウノトリの個体に危険が及ぶ、または市民生活に大きな影響が及ぶ恐れがある場所に営巣した場合は、産卵前の巣の撤去も含めた対応をとります。
8. 営巣している人工巣塔については、所有者・所在地にご協力いただき、関係機関とともに保護・育成に努めていきます。